

八戸

トラック輸送 重要性を解説

県トラック協会青年部会
光星高で出前授業

青森県トラック協会青年部会(川口晃司部会長)はこのほど、八戸学院光星高で物流に関する出前授業を実施した。同協会三八支部青年部会の朝生潤部会長が講師を務め、2年生約50人に国民生活を支える陸運業の重要性を解説した。

授業は2部構成で、前半は朝生部会長がスライドを使ってトラック業界の現状や業務内容などを説明。企業が求める人材像や、仕事の楽しさ、大切さについても語り、生徒が自分のキャリアを考えるきっかけを提供した。後半は大型トラックの乗車体験を行い、生徒は車体の大きさに驚きながら座席に乗り込んだ。

授業終了後、生徒からは「物流の仕事を身近に感じられた」などの声が寄せられた。県トラック協会青年部会は「今後

高校生にトラック輸送の重要性などを解説した出前授業



も県内の高校と連携し、継続的に出前授業を実施していきたい」としている。

(上條哲洋)